

## 令和5年度第4回 社会教育委員の会 議事録

日時：令和6年2月16日（金）13：30～

場所：アテナ工業アリーナ 2階 2－1会議室

出席者：

（関市社会教育委員・公民館運営審議委員）

出席者：清水 宗夫、太田 尚文、長屋 芳子、三島 善伸、西田 英子、土屋 昭代、  
大坪 博子、鈴木 幸子、早川 貞子

欠席者：鷺見 花実子、長谷部 弥生、花村 英泰、古川 雅志、道家 直樹、大塚 雅之

（事務局）

協働推進部：協働推進部長 多田 和夫

協働推進部：生涯学習課長 中村 亜由美

協働推進部： 深川 理代

委託事業者：（株）ジャパンインターナショナル総合研究所 高田 笙子、江口 陽子

### 1 開会

（事務局）

時間になったので、関市社会教育委員の会を始める。会議に先立ち、関市民憲章・生涯学習都市宣言の唱和を行う。

（全員で市民憲章・生涯学習都市宣言の唱和）

（事務局）

会に先立ち、多田協働推進部長よりあいさつを申し上げる。

### 2 あいさつ

（協働推進部長）

委員にはご多用のところ、会議に出席いただき厚くお礼申し上げます。平素、生涯学習の振興、社会教育の推進について支援、指導賜り深く感謝申し上げます。本日は、前回の審議会でいただいた、皆さんの意見やパブリックコメントの結果を参考に、関市生涯学習まちづくり推進計画（案）を作成した。皆さんからの意見をいただき、最終計画を作成したいと考えている。よろしくお願いいたします。

### 3 議事

＜事務局より、資料1について説明＞

○関市生涯学習まちづくり推進計画（案）について

（議長）

この内容で進めて、もう一度会議があるということでよいか。

（事務局）

3月の段階ではできた内容をお示しすることになる。

（議長）

今日は皆さんの意見をまとめて終わりということでよいか。

30 ページ、「16 団体・サークル活動への支援」に「生涯学習に関する団体・サークルの新たな立ち上げを希望する市民に対し、相談や情報提供等により支援を行います」という項目が追加された。異議がなければ、この修正案で進める。

31 ページ、「19 地域学校協働活動の推進」に「地域学校協働活動を推進するためのキーパーソンとなるコーディネーターについて、広く市民に養成講座への参加を促進します。また、その重要性や役割を学校や地域住民等と共有し、より効果的な活躍を支援します」と「地域学校協働活動」やコーディネーター等について、活動への市民参画が広がるよう、認知度を高めるための周知・啓発を行います」の項目が2つ追加された。これでよろしいか。

（委員）

この2つは内容が違うように受け取れるが、どちらも地域学校協働活動とコーディネーターについての説明文で、内容が若干違うため、下の「コーディネーター等」を取って、「地域学校協働活動」の説明にしたほうがいいかと思う。

（事務局）

地域学校協働活動全体の話ということで、「地域学校協働活動への市民参画が」という書き方でよろしいか。

（委員）

一つの文章にできると思うが、あえて二つにするなら、下の「コーディネーター」という文言を取ってもらったほうが分かりやすい。

（議長）

読んだ人がスムーズに理解してもらえれば問題はないが、皆さんいかがか。

(委員)

3 番目の「地域学校協働活動」にはかぎ括弧がしてあるが、これは何か意味があるのか。

(議長)

「活動への市民参画」以降が違うが、くどいように感じる。

(委員)

もし3つ目のコーディネーターという部分を取るなら、これを2番目に持ってきたほうがいいと思う。「地域学校協働活動について」として、3番目に「地域学校協働活動の推進するための」ここに「かぎカッコ」をつけて分かりやすくしてもらえればいいと思う。

(議長)

②と③を入れ替えるといいのではないか。最終的には「活動を推進する」ということで、③のところで意識づけるといいと思う。異議がなければ、今の意見をもとに修正をお願いする。

28 ページ、「12 多様な講座内容など、学習メニューの充実」の2番目「高齢期の学びを充実させることができるよう、趣味や教養の他、就労や社会貢献等にもつながる生涯学習活動を促進します」が追加された。異議はないか。

次に、「意見に対する市の考え方」について、でよいか。

(事務局)

最後に審議いただいたものが追加になったので、あとのご意見は参考意見として、修正には加えていない。

(議長)

今日の修正点と考え方は以上でよいか。最終的な案となるので、思いがあればお聞きしたいと思う。

(委員)

28 ページの追加について、2番目ではなく3番目にしてもらいたいと思う。「高齢期の学び」と「障がいの有無」を比較したときに、「障がいの有無」を重要視してほしいと思う。皆さんいかがか。

(委員)

「高齢者」と「障がいの有無」とあるが、高齢者も一つの障がいの有無だと思う。この頃、何でも発達障がいという人が増えているが、全員何らかの形で発達障がいではないかと思う。障がいを大事にすることは必要だと思うが、みんなイーブンだという考え方を変えていかないとけないと思う。今の案には賛成する。

(委員)

「障がいの有無にかかわらず」という言葉を入れることについてはいかがか。

(委員)

高齢者を区別する必要があると思う。

(委員)

区別と思うと一理あるが、差別という言葉を使ってしまうと良くない。私は入れておいても分かりやすいと思う。計画として出すのなら、入れていないと、載ってないじゃないかという一般の人もいると思う。

(委員)

高齢者と障がい者の多様な講座内容なので、障がいを持ってこうしたいということは変わりがないと思う。「障がいの有無にかかわらず」というのは当然だが、「生涯学習活動に参加できる環境をめざし、情報提供」を重要視しているし、高齢者に関しては、「趣味や教養の他、就労や社会貢献」が今まで培ってきた能力を生かすということで、どちらも言い切っていると思うので、順番はどちらでもいいと思う。

(委員)

これでもいいと思う。資料を読んで理解はしているが、事務局説明がうますぎて、話についていくので精いっぱいだった。

(委員)

ほかの資料がどうなっているかにもよるが、「高齢期の学び」なら、「セカンドライフ」のような言葉にするとか、「障がいの有無」ではなく、「すべての人に」など、言い回しは変えてもいいと思う。

(委員)

そこまで読み取れるかは難しいと思う。障がい者や高齢者に関わっている人は分かるが、一般の市民が行間を読めるかどうかは大きな問題だと思う。

(委員)

市が出すほかのものと合わせてもらえないと思う。確認をお願いします。

(議長)

高齢者、障がい者とあると、ある程度福祉関係では認知度用に意識して作っているか。

(事務局)

これまでの生涯学習課の計画において、障がい者の視点が弱かったと思う。教育振興計画でも、

この計画もほかの計画と整合性を図るということで、福祉の障がい者の計画や、地域福祉計画にも生涯学習のことが出てくるので、今回の「障がいの有無にかかわらず」ということが入ってきた。今、福祉の視点が市の施策の中でも、重要な課題になっているので、一番下に置いてしまったが、重要な課題なので、上げてもいいと思う。

(委員)

私たちの認識の中で、3番目だから軽いとか、1番目だからという考えを持つてはいけないと思う。どの項目もしっかり検討して、どれも大事だが、同じところに入れられないという理解も大事なのではないか。

(事務局)

ここの委員には、考え方にそういうバイアスを持った方はいないと思うが、広く市民の中にはアンコンシャス・バイアスもあるので、気づかないうちに偏見を持ってしまうこともあると思う。生涯学習の計画なので、そういうところを特に強くという書き方ではなく、対象者は子どもから大人までなので、こういう書き方にしたが、いかがか。

(委員)

読む側としては、分けて書いてある方がシンプルで理解はしやすい。網羅してしまうと読みにくく、深くまで理解している人でないとだめだが、この書き方は読みやすい。ただし、こだわる人はいる。この頃、こだわりの強い人が多いが、願っていることは変わらない。高齢者の生き方の中に社会貢献という部分で入っている。障がい者に対しては、情報提供という多面的な対応が書かれている。高齢者と障がい者を大事にしていると思う。

(委員)

そこは市のいろいろなアナウンスや策定の関係もあると思うので、考えていただいて、書いたほうがいいのか書いてはどうか。

(議長)

この会議としてはこのままでいいが、すべてを同列に考えて、区別、差別はないという考えで作っているということを、全員の意見で意思統一するということでよいか。

(事務局)

参考までに、5ページに総合計画の施策の取組があり、3番が障がい者福祉で、4番が高齢者福祉となっているので、こちらでそろえるという方法もあると思う。

(委員)

何もかもそろえないといけないのか。

(事務局)

どちらが重いとか、軽いとかはなく、市の計画と整合性を図るのであれば、こちらでそろえるのはいかがか。

(議長)

そういうことでいかがか。

(委員)

5 ページの政策が全部片仮名なので、関市民の大半がついていけるような片仮名にとどめるようにしていただきたい。

(議長)

用語の説明をつけてもいいと思う。

(委員)

関市の大半の方が理解できるような言葉を使っていると思うが。

(議長)

5 ページとの整合性というところでは、28 ページは変更したほうがいいか。

(委員)

今そんなことを言ったら、ほかのところの〇も全部。

(議長)

28、29 ページのイラストや写真も入るのか。グラフや文言よりも理解度が深まると思う。

(委員)

5 ページ、「リーダー」に「10 関商工高等学校」とあるが、関商工は市立なので名前が出ていると思うが、高校生の生き方のような感じだが、ここだけ高校の名前が出ている。

(委員)

関高や関有知もあるので、高校教育がうたえない。

(事務局)

5 ページの部分は、市の最上位計画の総合計画の内容を掲載している。市が進めている施策がすべてここに入っている。市の高校は関商工だけなので、こういう書き方になっている。ほかの高校の子たちも市が活動しているが、総合計画の中では、「12 女性・若者活躍」に高校生との連携も入っている。

(議長)

特別支援学校はどこかに入っているのか。

(事務局)

特別支援学校というものでは出てこないが、その取組とか支援の内容は障がい者福祉に入ってくると思う。

(議長)

関は学校、大学も南ヶ丘も総合大学なので、特別支援も重度のところもある。それを含んだらとても大きくなってしまう。

ほかにいかがか。

追加した点と、障がい者については大きな項目にそってそろえることで、了解をいただいたということで、本件については終了させていただく。ありがとうございました。

#### 4 その他

(事務局)

議事はすべて終了した。委員の皆様、この計画の件で何度か足を運んでいただき、ありがとうございました。無事、計画が作成できる見込みである。次回、製本したものをお渡しできると思う。終わりに中村生涯学習課長よりあいさつを申し上げる。

(生涯学習課長)

本日はありがとうございました。通常の年より会議に参加していただき回数が多く、今年度、皆さまにはお世話になった。次回は、3月19日(火)午後1時30分より、学習情報館3-2会議室にて行う。追って文書でご案内する。よろしくお願いします。

(事務局)

これで会議を終了する。ありがとうございました。

以上